

就業支援事業所 しあんくれーる 2013 年度事業計画

児童養護施設退所者などの就業支援事業として 2009 年度に始めた本事業は、5 年目を迎える。今後は 3 年～5 年後を見据えた取り組みが求められている。

1. 職員体制

こどもの家職員にまきばの家職員も加わり、事業が計画的に遂行できるように体制を整える。まきばの家やこどもの家職員と連携を持ちながら活動を進める。

2. 経営面

補助金は、年間約 430 万円と決定している。予算に合わせ、兼務という人員配置とならざるを得ない。

3. 各施設及びハローワーク、ヤングジョブステーションとの連携

中部地区、西部地区の児童養護施設 6 ヶ所、児童自立支援施設 1 ヶ所が守備範囲となっている。各施設と連携を深めるとともに、退所予定者の実態把握に努め、早い段階から対象児の支援体制を整えていきたい。また、各地のハローワークやヤングジョブステーションとも連携をとり、新たな職場を開拓していく。

4. 就業支援セミナー「社会に旅立つ君に」開催

毎年行ってきたセミナーであるが、事後のアンケート結果を見ると、児童にも付き添って来た職員にも大変好評であった。2013 年度は、内容をさらに充実したものを提供していく。

5. その他

今後も県からの委託事業として、継続が期待される事業になっている。県内だけでなく、施設退所者のアフターケアを先進的に取り組んでいる他県の事例に学びながら本事業を発展させていきたい。